

特集

マンホール

足元を
注意してみよう

普段はあまり意識もされませんが、
マンホールって、
何のためにあるのかご存知でしょうか？
一緒に見ていきましょう！

そもそも
マンホールって
何なの？

それは、「マン」＝「人」、「ホール」＝「穴」ということで、地面の下にある下水道の排水管を管理するために人が入って点検する入り口です。人が入る孔あなという意味で人孔じんこうともいいます。もしこれがなかったら、管のどこで問題が起きているか調査することができなくなるため、正常な下水道の維持管理のために欠かせない施設です。

マンホールには汚水用おびいと雨水用うづいのマンホールがあつて、川西市内には、約2万6400か所にマンホールが設置されています。設置されてから長年にわたって人が歩いたり、車を通ったりすることで老朽化してくると更新が必要になります。ここ数年、特に昭和40年代に開発された北部大型団地のマンホールが、いつせいに更新の時期を迎え、多額の費用をかけ対応しています。

